

# 西濃に広がる

## あったかい

## 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係

令和4年1月 第4号

### 「ありがとう」

これは、今年の夏にあった心が温まるお話です。その日、私は趣味で山登りをしていました。暑くて苦しい中、やっとの思いで頂上にとり着きました。展望台で景色を見ようとしたとき、なんと展望台の前にはたくさんのたばこの吸いながらがありました。私は、この状態で見ても気持ちよくないと思い、一人でその吸いながらをひろっていきました。そしたら、他の登山者も来て手伝ってくれました。一人だけじゃない。二人や三人も手伝ってくれました。そしたら、そのうちの一人が「ありがとう」と言ってくれました。それを聞いて心が温かかった。

### 「息子と共に親も成長していくね!」

息子は障がいがある為、就学先などたくさんのことを悩まなくてははいけません。息子にとって豊かな人生を送ってほしいと願っています。息子のことで悩んでいる際に、友人から「息子のいい所をいっぱい見つけてくれる、そんな人達に出会えるといいね! 息子と共に親も成長していくね! やるっきやないね!」と励まされ、心が満たされました。親子共々、たくさんの人に支えられているんだなと感じました。(保護者)

### 「人それぞれ! 十人十色だね!」

友だちとの関係が気になって母に相談したことがあった。「その子には、良いところも悪いところもあるけれど、人それぞれ違う、あなたにも良いところ、悪いところがあるでしょ。だから、個性だと思ってあまり気にしない、気にしない! 十人十色だね!」この言葉で私は救われた。お母さん、ありがとう。

### 「大きくなったね。」

学校帰りの途中、地域の方が話しかけてきた。その方は、小学校の時の安全サポーターの方だった。「大きくなったね。」と言われて、その言葉は久しぶりに会ったこともあり、嬉しくなった。会話は終わり、歩き始めると、僕は「もっと成長するぞ!」という気持ちになった。

### 「ご苦労様」

私は中学校生になってから「登校ゴミ拾い」をするようになりました。私の登下校する通学路には、「ビン・ペットボトル」などがよく落ちていて、きれいになりたいなと入学したときから思っていたので「登校ゴミ拾い」を始めました。でも、毎週ゴミ拾いをしていても、ゴミは全く減りませんでした。少し落ち込んでいたのですが、ある週、ゴミ拾いをしていたら、地域の方が「ご苦労様」と声をかけてくれました。私のやっているこの活動への思いは、ゴミを捨ててしまう人の心には届かなかったけど、地域の方の心には届いたんだと感じ、心があたたかくなりました。これからは、「ゴミを捨てる人」のゴミ拾いをするのではなく、「地域」のためにゴミ拾いをしていこうと思いました。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。